

愛国学園保育専門学校の3つのポリシー

1. 卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）

幼児教育科では、建学の精神である、「社会人としては、豊かな知識と技術をもって経済的に独立し、家庭人としては、美しい情操と強い奉仕心を持つ」を基に、学則に定める単位を取得し、以下の能力を身につけた者に対して、保育士となる資格及び幼稚園教諭2種免許状を付与するとともに、専門士（保育・介護福祉専門課程）の称号を授与します。

1. 保育者としての基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけていること
2. 優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけていること
3. 幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができること
4. 学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身につけていること

2. 教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要となる科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を行います。なお、この方針に基づく幼児教育科の教育内容、教育方法、教育評価については、それぞれ別に定めます。

3. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本校は、学校法人愛国学園の創立目的である「建学精神」である「社会人としては、豊かな知識と技術とをもって経済的に独立し、家庭人としては、美しい情操と強い奉仕心とをもって一家幸福の源泉となる、健全な精神と身体とをそなえた女性の育成を目的とする。」の下、「親切正直」を校訓とし、職業人として必要な知識・技術を有し、もって地域社会に貢献できる人材の育成を目指しています。